

みどりニュース



北山緑化植物園





今の季節は、葉を落とした木々が多いですが、ビオラやストックなどで花壇に彩りを添えると、冬枯れの景色が華やかになります。





ビオラなどいろいろな品種があります。皆さんも花屋などで、お気に入りの品種を探してみてください。

～植物園の早春の花～ (※写真は編集時のものです。)

スノードロップの仲間
ヒガンバナ科
小さい背丈で花はうつむき、園内でひっそりと咲いています。積もった雪にも負けず咲く姿は風情があります。気難しい種類もありますが、色んな種類がありますので、是非育ててみてください。

フクジュソウ
キンポウゲ科
石灰岩地などの山野に見られる「春植物」です。江戸時代より愛培され縁起物として親しまれています。近年は品種改良により紅花などの品種も作られ、山野草園芸の一角を担っています。

ヘレボルス・ニゲル
キンポウゲ科
クリスマスローズは本来、この種類をさします。それ以外の種類は主に春に花盛りとなります。



お知らせ

西宮市の新品種 “宮の雛桜 (みやのひなざくら)”

●品種の特徴

花は親木である夙川舞桜の性質を引き継いだ半八重咲きで、白色です。開花時期は3月下旬～4月上旬。マメザクラ系であるため、剪定によりコンパクトな樹形に調整可能で、また、高さ1m未満で開花します。なお、北山緑化植物園の市民ガーデンセンターで販売も行っています。

13cmポット 1,500円 19cmポット 2,800円

●「宮の雛桜」開発の経緯

植物生産研究センター(花と緑の課)では、西宮市にふさわしい都市緑化材料として、市花「さくら」の研究に取り組んできました。「宮の雛桜」は、「西宮権現平桜」「夙川舞桜」「今津紅寒桜」「越水早咲き」に続く5番目の西宮市オリジナル桜で、人為的な交配により開発された初めての品種です。一般的に桜は高木性で大きく成長するため、植栽できる場所が限られます。市花「さくら」をより多くの市民が育てられるように、コンパクトで鉢物でも育てられ観賞できる品種の開発を目指して生まれたのが「宮の雛桜」です。



「西宮を花と緑にする会」今年度の活動について



1. 「フラワーフェスティバル in 西宮」の開催について

「フラワーフェスティバル in 西宮」は、3年ぶりに開催されました。本年度より西宮市が主催として開催しております。当会は共催として協力し、家庭でも育てやすい、花の種を配布しました。



2. 令和4年度 緑の募金運動及び還元事業について

当会は緑の役割、緑の大切さなどを啓発するため、緑化推進事業の1つとして「緑の募金」活動に取り組んでいます。

今年度は5月16日～6月24日(40日間)で募金活動を行った結果、合計27校の幼稚園、小学校、中学校にご協力いただき370,000円の募金が集まりました。集まった募金は、ご協力いただいた学校園の緑化活動や、公益社団法人兵庫県緑化推進協会を通して、森林保全活動支援事業、森林学習体験活動支援事業などに活用されております。本会へは緑化活動助成金として約半額分が交付され、この助成金で緑の還元事業を行い、秋に募金協力校へ球根及び花苗を配布しました。



3. 令和4年度 研修会の開催休止について

日帰りバスツアーの形態で実施してきた研修会を、今年度、3年ぶりに開催の予定でしたが、開催予定人数に達しなかったため中止としました。

4. 令和4年度 園芸講習会の開催について

昨年、コロナ禍のため中止いたしました当会の園芸教室。去る12月、3年ぶりに北山緑化植物園で開催しました。冬から春までの草花を植え込んで、パッと明るく楽しくなる冬の寄せ植えを作りました。寒い時期の水やりや温度対策など長く綺麗に育てる管理のコツも学ぶことができました。今回、鉢は軽くて扱いやすいプラスチック製の白いものを使用しました。



〈西宮を花と緑にする会 事務局〉
 〒662-8567 西宮市六湛寺町8-28
 西宮市役所花と緑の課内
 TEL (0798) 35-3784 FAX (0798) 38-6325
 会のホームページ <http://nishi-hana.org/>
 「西宮を花と緑にする会」で検索